

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-8798  
 住 所 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号  
 氏 名 郵便事業株式会社 印  
 代表取締役社長 鍋倉 真一  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	郵便事業株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎区南渡田町1-3		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	49	郵便業(信書便事業を含む)
主たる事業 の内容	郵便・国内物流事業、国際物流事業、ロジスティクス事業など		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,718	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	環境・社会貢献室
		所在地	東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
		電話番号	03-3504-4401
		FAX番号	03-3592-7620
		メールアドレス	

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高効率空調設備への更新</li><li>・ 全熱交換器の採用</li><li>・ 高効率照明設備への更新</li><li>・ E S C Oサービスの導入</li><li>・ 省エネ行動の手引書「省エネ教育プログラム」により省エネ行動を実施 詳細は、指針様式第1号（第4、5面）のとおり</li></ul>
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 環境マネジメントシステムの国際規格である I S O 14001 の認証取得（川崎港支店）</li><li>・ 省エネ行動の手引書を活用し、省エネルギー行動を実践 詳細は、指針様式第1号（第6面）のとおり</li></ul>
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

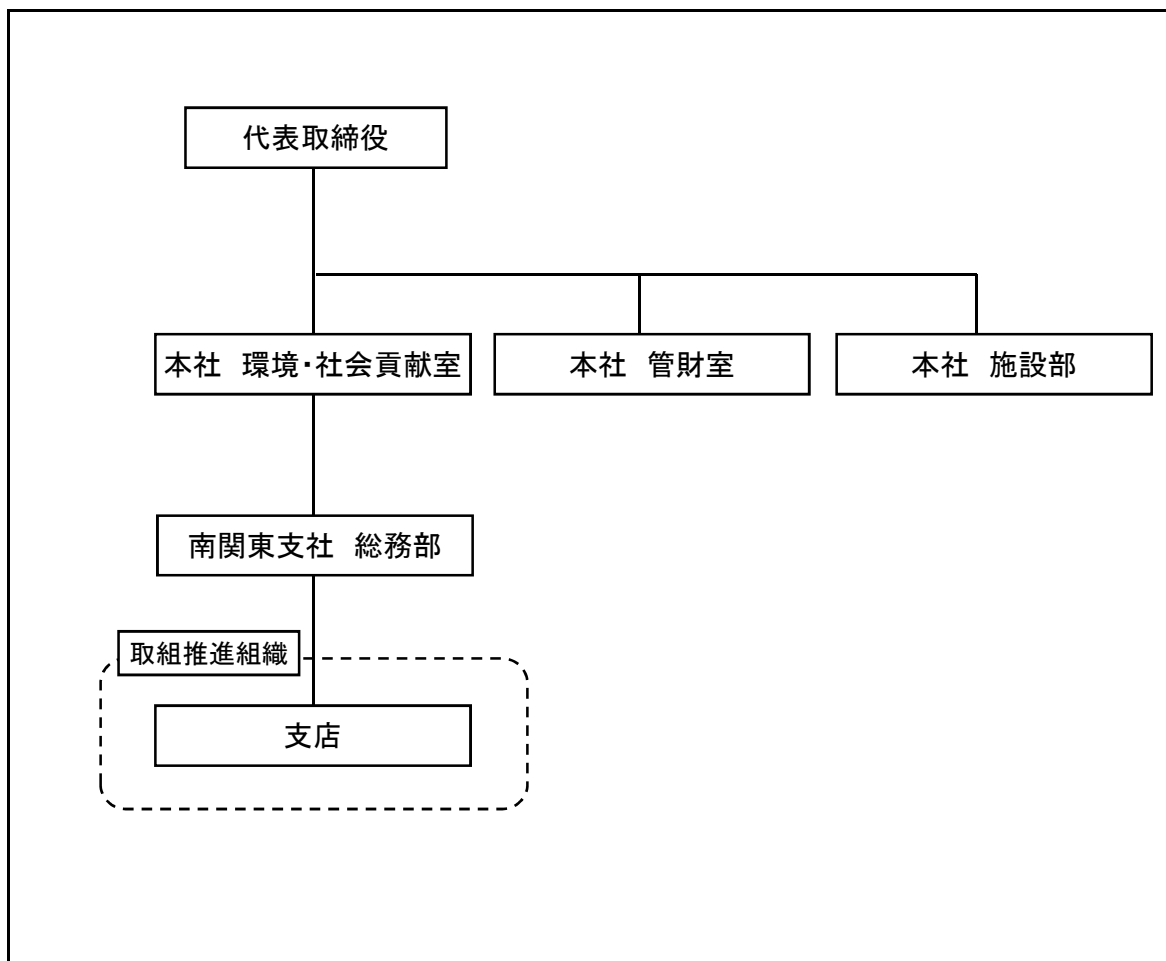
## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

**【環境方針】**

- 1 わたしたちは、環境に関する法令、条例及び同意した各種協定等をきちんと守り、地球環境への負担を減らすための取組及び環境汚染の予防に努めます。
- 2 わたしたちは、エコドライブの推進、低公害車の導入、効率的な集配・運送作業、などに積極的に取り組み、地球環境の保全に努めます。
- 3 わたしたちは、毎日の仕事の中で、省資源や省エネルギー、資源のリサイクルなどに積極的に取組み、環境負荷の低減を図ります。
- 4 わたしたちは、環境に配慮した物品の使用など循環型社会の実現に向けた積極的な取組を行います。
- 5 わたしたちは、地域とともにある企業の一員として、地域社会における環境保護への取組に積極的に参加・支援していきます。
- 6 わたしたちは、環境目的及び環境目標を定め計画的に実行するとともに、これらを定期的に見直す枠組みを構築して、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- 7 わたしたちは、環境に関する情報を会社の内外に積極的に公開し、環境教育や啓発活動を進めることにより、環境問題への意識の向上に努めていきます。
- 8 わたしたちは、この環境に関する方針を受けて、自ら理解、認識を深めるとともに、この方針を広く一般に公表します。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 4,570 (調) 3,816	t-CO <sub>2</sub>	(実) 4,432 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0	%	(実) 138 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積	単 位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.05209	目標年度の値	0.05052
削減率	3.0	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

改正省エネ法で定める年平均1%の低減を目標とする。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>○高効率空調設備への更新 経年等により空調設備を更改する際に、空調熱源システムを水冷及び油燃料方式から空冷ヒートポンプ(トップランナー機器)式に更改する。</p> <p>○全熱交換器の採用 経年等により空調設備を更改する際に、全熱交換機の使用及びファン容量の適正化による使用エネルギー合理化を図る。</p> <p>○高効率照明設備への更新 経年等により照明設備を更改する際に、インバーター式蛍光灯、LED照明等、高効率の照明設備に更改する。</p> <p>○ESCOサービスの導入 ESCOサービスを導入し、専門事業者のノウハウを活用して省エネルギー化を図る。</p> <p>○環境への取組みとして、本社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな消灯(使用していないエリアの消灯、比較的明るい窓際エリアでの消灯など)</li> <li>・蛍光灯や電球交換時は、省エネ型の蛍光灯を採用</li> <li>・夏季軽装の実施</li> <li>・空調温度の設定(冷房は28℃、暖房は18℃に設定)</li> <li>・冷暖房の運転時間の短縮</li> <li>・使用しない電気機器の主電源オフの徹底</li> <li>・電気機器の省エネモードの設定</li> <li>・乗用エレベーターの利用抑制(2アップ、3ダウン)</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし
----

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得(川崎港支店)</li> <li>・外気条件に応じた空調機器の稼働時間の調整</li> <li>・ヒートポンプ方式などの高効率空調機の導入</li> </ul>
---

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- 環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を川崎港支店で認証取得している。
- 環境への取組みとして、当社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践
  - ・廃棄物の減量化・分別化の推進
  - ・エコ安全ドライブの推進
  - ・両面・縮小印刷によるコピー用紙使用枚数の削減

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,570	t-CO <sub>2</sub>
(調)	3,816	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎港支店	川崎区南渡田町 1-3	4911	郵便業	1,582 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	1
300~400k <sub>l</sub> 未満	2
200~300k <sub>l</sub> 未満	1
100~200k <sub>l</sub> 未満	2
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--